

CKJSだより

第58号

校長 松平 昭二

shoji_matsudaira@hotmail.co.jp

ゆとりと無駄

私たちは、道路を歩くときいちいち足もとを見なくても大丈夫です。歩行に必要なのは足が着地する部分だけですが、普通の道路はその部分よりも幅広に造られているからです。踏み跡以外は無駄な部分のように見えますが、これがないと「綱渡り」のようになってまともに歩けません。ほとんど車が通らない道を作るのは「無駄」に見えますが、人が安全に歩けるといふ点において、こうした道路は必要です。自動車のブレーキやハンドルにも「遊び」があり、これがないと急ブレーキ、急ハンドルになり危険です。

けれども、遊びが大きすぎるのも危険です。こうした必要な余分や遊びを「ゆとり」と呼ぶとすれば、必要のない過大な余分は「無駄」と言っていいでしょう。

ところで、最近、世の中から余分をなくす動きが見られます。例えば、リサイクル活動や「もったいない運動」などがそうです。これらは、「無駄」を減らそうとする動きですから、大いに推進されるべきだと思います。

教育の世界ではどうでしょうか。今日、「ゆとり」が「無駄」のように認識され、見直されつつあります。以前から、授業時数を確保するために行事を精選すべきだという意見がありました。しかし、行事だからこそ学べることだってたくさんあります。授業以外は、まるで無駄なもののように扱い、これらを安易に減らしてしまう動きには反対です。行事を通して、子どもたちが心豊かに成長する姿を、私たちはたくさん見てきました。余分を減らすという観点が強すぎると、まさに綱渡りの状態のように「ゆとり」が奪われ、様々な問題が生じるかもしれません。

授業時数ばかりが増えすぎれば、当然、勉強嫌いの子どもは学校嫌いになるでしょう。また、教職員も、勉強以外の場で子どもの様々な面に触れて得られる心のゆとりがなくなります。

大切なのは「ゆとり」と「無駄」を混同しないことです。「無駄」を減らそうとするあまり「ゆとり」まで奪って、子どもたちや教職員に「綱渡り」を強いることがないように十分留意したいと考えています。



先週、高等部の生徒が球技大会を実施したいと校長室を訪れました。目的から実施まで計画を立てるのでぜひお願いしたいというものでした。確かに授業時数は削減されませんが、私は彼らの自主的な行動を評価し実現させたいと思い、先ず目的をしっかりと考えてくるようにと宿題を出しました。現在、先生方と検討していますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※次ページに漢検の申込書があります

日本漢字能力検定申込みについて(お知らせ)

“新涼や白きてのひらあしのうら” ^{かわばたぼうしや}川端茅舎(高浜虚子に師事した俳人)

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、今年度も希望される方を対象に下記の通り漢字検定を実施します。申込書にご記入の上お申し込みください。

なお、申し込み後の受検級の変更及び返金はできませんので、あらかじめご了承ください。

記

1 日時 令和5年10月28日(土) 午後3:20~4:20

※ 授業終了後に実施しますので、受検者のお迎えは図書室にお越しください。

2 場所 イーデス J ヘイズ中学校 カフェテリア

3 対象 小学部1年生~高等部2年生までの児童生徒及び保護者の希望者

4 概要 10級~2級(出題内容等については、漢検ホームページをご覧ください。<http://www.kanken.or.jp/kanken/>)

5 提出物 (1) 下記申込書(欄が足りない場合は1行に2名お書きください)

メールに添付して学校事務室(ckjs-office@ckjs.org)までお送りください。

(2) 受検料 2級=\$26 準2級~4級=\$19 5級~7級=\$15 8~10級=\$11

(銀行口座自動引き落としとさせていただきます。引き落とし日は、9/28になります。)

6 申込メ切 9月23日(土) ※厳守

「日本漢字能力検定」申込書

フリガナ		学部	学年	生年月日			男 女	受検級	受検料
姓	名			昭・平 (西暦)	年	月			
							受験料合計	\$	
保護者署名									

※ 学部欄には、小・中・高をご記入ください。また、保護者の方は保とご記入してください。